



2023年7月25日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号 : 4588)
問 合 せ 先 取 締 役 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

**OBP-601 (censavudine, TPN-101) の
アイカルディ・ゴーティエ症候群 (Aicardi-Goutières Syndrome) を
対象とした Phase 2 a 臨床試験の投与開始に関するお知らせ**

当社が Transposon Therapeutics, Inc. (以下、「Transposon 社」) にライセンスを供与している核酸系逆転写酵素阻害剤 OBP-601 (censavudine, TPN-101) に関し、同社が新たに進めている「アイカルディ・ゴーティエ症候群 (AGS : Aicardi-Goutières Syndrome)」を対象とした Phase 2 a 臨床試験 (以下、「本試験」) において、第一例目への投与が開始されましたので、お知らせいたします。本試験は単一群で行われるオープンラベル試験であり、欧州の多施設で実施されます。

Transposon 社は、本試験以外に「進行性核上性麻痺 (PSP : Progressive Supranuclear Palsy)」並びに「C9ORF72 変異を有する筋萎縮性側索硬化症 (ALS : Amyotrophic Lateral Sclerosis) 及び前頭側頭型認知症 (FTD : Frontotemporal Dementia)」を対象とした Phase 2 a 臨床試験を米国・欧州で進行させており、既に両試験の患者組み入れを完了させています。

Transposon社によるOBP-601の開発プログラムは、LINE-1逆転写酵素の関与が確認された神経変性疾患への治療を対象としており、Proof-Of-Concept (概念実証) の確立が目的です。全世界で未だ有効な治療法が確立されておらず、新薬の登場が待ち望まれているアンメットメディカルニーズの充足に貢献できることが期待されています。なお、これらの開発費用は全額Transposon社が負担します。

本件による2023年12月期の当社業績への影響はありません。

以 上